

2005レーザーラジアルワールド 12月8日(レポート7)

## GOLD SILVER 決勝ラウンド2日目

ゴールド&シルバーフリートでの決勝ラウンド二日目。昨日以上に風が吹き海面は風向105°~120° 8~9 m/sec 前後の風が入り、高いうねり(2.5m)のラフな状況です。選手にはハードなレースですが、見ている側にはレーザーの醍醐味であるサーフィングが随所にみられ迫力があります。

第9レースは風向115°、風速9 m/sec、右サイドが優位なコンディションの中行われました。

### ゴールドフリート(女子)

石川が課題であるスタートを成功し、集団について行きます。あきらかに体格差のある状況で、スタート、そしてスタート後のセーリングは今後につながる走りです。

アメリカ、ページ・ライリーの安定感は崩れません。これまでのレースで、予選第3レース(3 m/sec)以外は全てシングル、2位以下を大きく離しています。各レースストップこそ走りませんが、必ずトップグループ内に留まり徐々に順位を上げてきます。

3位フランスも順位を上げてきました。ゴールドフリートになりレベルが均衡している中、成績をまとめ2位アメリカ、アンナに迫っています。それに比べオーストラリア勢が徐々に後退しています。スピードでは負けていないのですが、接戦になるマーク際でミスを冒している様子、明日からの挽回が期待されます。

### シルバーフリート(女子)

決勝ラウンドに入り順位が大きく変わっています。

予選の軽順風で奮わずシルバーフリート入りした選手達の数名が強風では実力を発揮し、他を大きく引き離しています。その中でもフィンランド、サラ・ムルタラは決勝ラウンド 10-1-1-1 とシルバーフリート15位から3位へジャンプUP、快走しています。クローズのスピード以上にダウンウインドの走りが他を大きく離す要因です。

これに続いているのがオランダ、メリル・ウィットビーン決勝ラウンド全て4位以内でまとめています。

### ゴールドフリート(男子)

1位ブラジル、エドアルド・マガハスコート、2位アメリカ、ブラッド・ファンクの優勝争いが予想されます。3位をニュージーランド、ブラジル、アルゼンチンが競っています。8位までの選手はこのままシニアクラスでも十分戦える感じですが。

特にブラジルの強さには驚きます。

シルバーフリート（男子）

ゴールドフリート同様ブラジル、ラファエル・バルティジェットが2位以下を30点近く離しています。

レースでは強風と大きなうねり・波によりダウンウインドの走りに差が現れています。レーザー特有の蛇行しつつ波の乗り続ける走りです、上位選手に比べ下位選手は船が不安定な為、一つの波に乗ることが精一杯、波から波への安定した移動が出来ていません。一つの波に乗りすぎ減速したままにいることも速く走れない原因です。

これを克服しなければ波・うねりのある分遅れるでしょう。今後の課題です。

日本選手の成績

女子（76艇）

GOLD < 38艇 >

38位 石川あゆ美（株）ベネッセコーポレーション）  
19-7-7-14-30-~~34~~-37-~~38~~-37-38=189

SILVER

65位 才木雪代（光東株式会社）  
10-~~33~~-22-~~32~~-31-23-29-25-31-26=197

68位 川副温子（同志社大学）  
25-~~33~~-15-33-32-30-33-32-34-33=233

71位 濱口睦美（鳥取県セーリング連盟）  
32-30-~~34~~-33-33-~~35~~-31-23-29-32=243

72位 田村愛子（法政大学）  
30-29-23-29-35-~~36~~-35-34-32-34=246

男子（90艇）

SILVER

79位 31-13-36-32-~~40~~-30-35-31-~~dnf~~-dnf=254 広田俊（米子高専）  
56位 ~~32~~-30-~~36~~-25-23-32-5-13-15-12=155 前田博志（マツダ株式会社）



レース海面をチェックするブラジルコーチ



ゴールド女子トップを快走するデンマーク